



校長室だより

3学期・登校日数「48日」本日スタート！



令和2年が始まり、中込中の新年もスタートしました。この様な中、本で行われた3学期始業式では、3学期をスタートするにあたって心がけていきたいこととして、以下のような話をしました。

〈「笑顔」溢れる3学期にしよう！〉

おはようございます。お正月からはしばらく日が過ぎてしまいましたが、新年になって初めて全校が揃ったので、全員で新年の挨拶をしましょう。「明けまして、おめでとうございます。」新しい年にふさわしい清々しい挨拶ができましたね。皆さんの明るい顔と元気な声を聞くことができ、大変嬉しいです。さて、今日は新年にあたり2つ話をします。

まず1つ目は「3学期について」です。1学期の登校日数は73日、2学期は85日ですが、それに比べて3学期は48日ととても短い学期です。1年間の登校日数は全部で206日ですから、3学期の48日は年間登校日数の4分の1弱です。

この様に短い学期ですが、3学期には3年生は高校入試という今までの人生の中でおそらく最も大きな壁が待ち受けています。抜け道を探したり近道をしたりせず、正々堂々と正面から壁に立ち向かっていきましょう。この壁を乗り越えることで、人として大きく成長することは間違いありません。入試まで約2ヶ月、仲間とそして先生方や家族と共に頑張らしましょう。

1～2年生はそれぞれ2～3年生に進級するための大事な準備期間となります。2年生は3月に行われる「3年生を送る会」等の準備を通して、来年度に役立つアイデアや企画力を鍛えてください。1年生は中込中で「先輩」と呼ばれる立場になります。どの様な先輩になりたいか、この3学期に自分の目指す先輩を見つけその先輩のようになれるよう準備をしてみましょう。自分がやったことは、目に見えることも目に見えないことも含めて、全て自分に還ってきます。年末年始休業中に自分で立てた「新年の目標」のために、毎日地道に努力を積み重ねていく3学期にしましょう。

(裏面に続きます)

2つめは「笑顔」についてです。12月末の信濃毎日新聞に「笑顔の連鎖は幸せの連鎖」という高校生の投書が載っていました。新年にあたって、中込中にふさわしい話だとピンと来たので、ここで紹介したいと思います。

『「笑う門には福来たる」ということわざにもある通り、「笑顔」には多くの幸せをもたらす効果があります。私は、落ち込んだときや不安なとき、無理にでも「笑顔」になるよう心がけています。笑顔になることで、気持ちが楽になり、ポジティブな気持ちになるからです。また、悩んでいたことがなんだかとてもちっぽけなことのよう思えてくることもあります。笑顔にはもうひとつの大きな効果があります。それは人を引きつける力です。私は昔、憧れの人がありました。その人のまわりにはいつも沢山の人がいて、毎日楽しそうでした。今、思い返してみると、その人はいつも「笑顔」があふれていました。私もいつの間にか、その人の「笑顔」に引きつけられていたのです。この様に「笑顔」には人と人とを結びつける力があります。一人が笑顔になると、また一人、また一人と笑顔の輪が広がっていきます。「笑顔」が連鎖する＝「幸せ」が連鎖すると言えるのではないのでしょうか。これから私は「笑顔」を心がけて、まわりの人も「笑顔」になれるよう、幸せを届けていきたいです。』

この文は、中野市に住む羽入田さんという17歳の女子高校生が投書した記事です。中込中の「笑顔があふれ、学びと活動がある学校」という学校目標につながるとても素敵な文章だと思い紹介しました。3学期も楽しいこと、苦しいこと、つらいこと等沢山あるかもしれませんが、いつも「笑顔」を心がけながら、皆で充実した1日1日を積み重ねていきましょう。

以上で3学期始業式の話が終わります。



3学期の3ヶ月間は、「行く1月」「逃げる2月」「去る3月」などと例えられることもあるように「あっ」という間に過ぎてしまう学期です。48日間という短い登校日数を考えると、1日1日が本当に大事な日々になります。新年に立てた「今年の目標」を胸に秘めながら、それを意識して日々過ごしていければと考えています。新年になってもその原点にあるのは「全ては中込中学校の子どもたちの笑顔のために!」「生徒も先生も、明日も早く行きたいと思う学校づくり」の想いです。3学期もご支援・ご協力よろしくお願い致します。

(文責：大西孝一)

佐久市立中込中学校

*ご意見、ご要望、お問い合わせ

などは、下記までお寄せ下さい。

TEL 0267-62-0725

Fax 0267-62-2876